

【勉強ゼロ】で今日から英語がペラペラ話せるようになる魔法の 10 フレーズ

(21 分 12 秒) けんじ先生の「最短で話せる英会話教室」

英語はどの形でも

文頭に「主語＋動詞」

疑問文・否定文も 文頭

「文頭で決まる仕組」になっています。

① I like~ (～が好き)

I like your jacket. (私はあなたのジャケットが好きです。)

I like this chocolate. (私はこのチョコレートが好きです。)

I like this book. (私はこの本が好きです。)

I like this channel. (私はこのチャンネルが好きです。)

I don't like spicy food. (私は辛い料理が好きではありません。)

I don't like snake. (私は蛇が好きではありません。)

I don't like winter. (私は冬が好きではありません。)

Because なぜなら～

「Because」から始めて理由を付け加えると英文を話し続けることができます。

I like your jacket. Because it looks so cool. I just love the animal picture on its back.

(私はあなたのジャケットが好きです。なぜならカッコよく見えるから。ジャケットの背中の動物の絵が大好き。) ※ its は it の所有格

モノではなく、ある動作が「好き」「嫌い」という場合は「ing」や「to」を付ければバッチリです。

I don't like talking in public. (私は人前で話すのが好きではありません。)

動作が「好き」「嫌い」の場合 I like~ing/ I like to~

この「ing」や「to」を付けないと間違いになってしまいますので気を付けましょう。

× I like play tennis.

I like to play tennis. = I like playing tennis.

人が何かをするのが好きな場合 I like 人 to~ となります。

I like my husband to cook dinner for me. (夫が私に夕食を作ってくれるのが好き。)

like の程度が強い場合 love (〜が大好き) に入れ替えてそのまま使う

I love this chocolate. (私はこのチョコレートが大好き。)

I love this book. (私はこの本が大好き。)

I love to play tennis. (私はテニスをするのが大好き。)

I love to talk with you. (あなたと話しをするのが大好き。)

② I want to~ (〜したい) I want~ (〜がほしい)

自分の欲求を伝えるフレーズです。これも便利な表現です。欲求がない人はいないので、その時に「したい、したくない」ということを「I want to」の後につなげて言えば英文になります。

I want to drink some coffee. (私はコーヒーが飲みたい。)

食べたいものがあったら

I want to eat spaghetti. (私はスパゲッティが食べたい。)

I want to eat chocolate. (私はチョコレートが食べたい。)

I want to eat pizza. (私はピザが食べたい。)

行きたい場所があったら

I want to go to Disney land. (私はディズニーランドに行きたい。)

I want to go to America. (私はアメリカに行きたい。)

I want to go to the moon. (私は月に行きたい。)

I want to talk with my mom. (私はお母さんと話がしたい。)

I want to talk with my friend. (私は友達と話がしたい。)

「I like」と同じように「to」を取って「I want」の後にそのまま欲しいものの名前を入れれば英文になります。

I want some coffee. (私はコーヒーがほしい。)

I want some chocolate. (私はチョコレートがほしい。)

I want a necklace. (私はネックレスがほしい。)

I don't want spicy food. (私は辛い食べ物が欲しくない。)

I don't want the bag. (私はそのバッグが欲しくない。)

I don't want the watch. (私はその時計が欲しくない。)

何かを欲している「状態」を表しますので「ing」を付けては表現しません。

× I'm wanting some coffee.

自分がするのではなくて、誰かに何かをして欲しい時「want」と「to」の間にその「人」を入れればバッチリです。

I want you to wash the dishes. (私はあなたに皿を洗ってほしい。)

That を使って × I want that you wash the dishes. とは使えませんので注意

してください。

ちょっと流暢に話している感じを出したい場合は「want to」を「wanna」に崩す
といいですが、少しカジュアルな表現になりますので「I want to」もしっかり使
えるようになっておいてください。

want to = wanna

I wanna drink some coffe.

③ I can~ (～できる)

I can speak Japanese. (私は日本語を話せる。)

何かができる、自分の「能力・可能性」を伝えるフレーズとなります。自分ができ
ることできないこと、たくさんありますよね。

「can」の後にその動作を付ければ、いくらでも英文ができます。

I can cook. (私は料理ができる。)

I can run fast. (私は速く走れる。)

I can ride a motorcycle. (私はバイクに乗れる。)

I can't fly. (私は空が飛べません。)

I can't play tennis. (私はテニスができません。)

can't がうまく伝わらない場合ですが、「can't」の「t」がはっきり伝わらない場合
があるんですね。

その場合はもう一回「I can not」という形ではっきりと「not」が伝わるように
言い換えるといいと思います。

I can not fly.

I can not play tennis.

I can not eat spicy food. （私は辛い食べ物が食べれません。）

「can」を最初に持ってきて質問にしたら何かをお願いする表現になります。

Can I have a cup of coffe? （コーヒーを一杯いただけますか？）

Can you take a picture of me? （私の写真を一枚撮っていただけませんか？）

また誰かに許可を与えたり禁止したりすることもできます。

You can't park your car here. （あなたの車をここに停めてはいけません。）

子どもに対してだったら

You can't play the computer games. （あなたはTVゲームをしてはいけません。）

Can で「ありえない！」という「驚き」を表すこともできます。

You can't be serious! （マジかよ）

④ I will~ （～しよう）

I will go to work tomorrow. （明日仕事に行きます。）

「～しよう」という予定。「未来」を伝えるフレーズになります。明日の予定や今後のスケジュールなど、何かしらの予定が入っていると思いますので手帳を見ながらどんどん英語にしていきましょう。

I will eat lunch with my friend next Sunday.

（来週の日曜日に友達と昼食を食べます。）

I will have a meeting with my boss. （上司とミーティングがあります。）

I will go to Hakone on spring break. （春休みに箱根に行きます。）

何とかしない場合は「will」に「not」を付ければ大丈夫です。この「will not」は短

い形に省略して「won't」と使うこともできます。

I will not be late for the meeting. (会議には遅刻しません。)

I won't be late for the meeting.

won't は「ou」とはっきり発音しますので「Iw[OU]nt」とちょっと大げさに言うくらいがいいと思います。

Will でお願いする場合

Will you~? (～してくれませんか?) 「can」と同じで「will」も前に持ってきて質問にすれば「お願い文」になります。

Will you help me cook dinner? (夕食を作るのを手伝ってくれませんか?)

自分以外のモノが文頭にくる場合

モノ + will~

そして自分以外のモノを主語のに持ってきてても文が作れます。

Accidents will happen. (事故というものは起こるものだ。)

「一般的に事故は起こってしまいますよ」という一般の法則を表します。

また、「will」という単語は名詞で「意志」を表す言葉でもあるんですね。

なので、「絶対何かを成し遂げるぞ」という「強い意志」を表すこともできます。

I will finish it by 5o'clock. (それを 5 時までに絶対に終わらせます。)

⑤ Let's~ (～しましょう)

Let's eat lunch. (お昼を食べましょう。)

「しましょう」という誘いを伝えるフレーズ。これは馴染深いんじゃないでしょうか。これまで紹介してきた日常的に使う動作は何でも付けることができます。

Let's drink some coffee. (コーヒーを飲みましょう。)

Let's go to the movie. (映画を見に行きましょう。)

Let's check the file. (ファイルを確認しましょう。)

また「Let's」を分けて「Let us」とすることもできます。

Let us all get together over Christmas. (みんなでクリスマスに集まりましょう。)

何かをしない時には「not」を付けますけれども、「Let's」の場合はどうしたらいいんでしょうか？簡単です。「Let's」の後に「not」を付けてそのまま使えば大丈夫です。

Let's not talk about work tonight. (今夜は仕事について話さないようにしよう。)

また「shall we～」と誘われた時に、それに対しての返事としても「let's」は使えます。

Shall we dance? → Yes, let's. or No, let's not. (いいえ遠慮しておきます。)

⑥ I should～ (～すべき)

I should watch this video. (私はこのビデオを見るべきです。)

「～すべき」という「提案」を伝えるフレーズになります。「すべきこと」「すべきでないこと」もたくさん英文になりそうです。

I should go to work every day. (私は毎日仕事に行くべきです。)

I should do more exercise. (私はもっと運動すべきです。)

I should finish the documents. (私は書類を終わらせるべきです。)

すべきでない時は

I shouldn't eat so much chocolate.

(私はそんなにたくさんのチョコレートを食べるべきでない。)

I should punch him. (私は彼をパンチするべきでない。)

また応用になりますけれども、過去に何かを「すべきだった」「すべきでなかった」という時にも使えます。

I should have called him right away. (彼は彼にすぐ電話をするべきだった。)

また「should」は推測や可能性の意味でも幅広く使えます。

It should be a nice day tomorrow. (明日は良い天気になるだろう。)

He should be home by now. (彼は今頃もう家に帰っているはずだ。)

⑦ I think (～だと思う)

I think Jack is handsome. (私はジャックがハンサムだと思う。)

「だと思うよ」という意見を伝えるフレーズです。もしジャックをハンサムだと思わない場合どう言ったらいいかと言うと

I don't think Jack is handsome. (私はジャックがハンサムだとは思わない。)

という表現になります。誰もが何かしらの意見を持っているはずですのでこの「I think」もいろいろ使えそうですね。

I think + that

の場合、その「that」の後にどんな文でも付けて自身の意見を表すことができます。ただ考えを「持っている状態」なので「have」と同じで「ing」は使えないんですね。 × I'm thinking that movie is interesting.

正しくは I think that this movie is interesting. (私はこの映画は面白いと思う。)

ですが意見を持っているのと違ってただ、何か考え事をしている最中は、

I'm thinking. (私は考えている最中です。) とします。

I think + about/of で、「何かについて考えている。」と表すことができます。

I sometimes think about my job. (私は時々自分の仕事について考えます。)

I always think of you. (私はいつもあなたのことを考えています。)

⑧ I hope～ (～だといいな)

I hope it will be sunny tomorrow. (明日晴れるといいな。)

～だといいなと「希望」を伝えるフレーズです。「こうなっただいいな」ということには何でも使えます。また誰かの質問に対して「そうならいいな」「いやそうじゃない方がいいな」という答えとしても「hope」は使えます。

質問に対する答えの場合

Will he be here soon? (彼はもうすぐここに来るかな?)

I hope so. (そうだといいね。)

Do you think it will rain tomorrow? (明日雨が降ると思う?)

I hope not. (そうじゃないといいね。)

否定の時は「I don't hope so.」で答えるのではなくて「I hope not.」と答える方が自然です。

I hope + that の場合

また「I hope」は「think」と同じように「I hope that」という形で「that」の後に何でも「こうなっただいいな」ということを文として付けることができます。

I hope that the rain stops soon. (雨がもうすぐ止むといいね。)

I hope + to

また「want」とか「like」のように「to」を使って「こういう動作ができたらいいな」という「希望」を表すこともできます。

I hope to see you soon. (またすぐにあなたに会えるといいな。)

また「希望しているよ」ということで

I'm hoping for good weather. (いい天気だといいな。)

こんな形で「進行形」で使うこともできます。

⑨ Please～ (どうか～して)

Please help me. どうか助けてください。

「どうか～して」と「お願い」を伝えるフレーズです。「please」は今回紹介する10フレーズの中で、もしかしたら一番重要かもしれません。というのも、「please」さえ言えればどこでも生きていけるからです。たとえば海外旅行へ行く時に飛行機の中で「please」をたくさん聞くんじゃないでしょうか。食事の時キャビンアテンダントの方が

Beef or chicken? (ビーフにしますか？チキンにしますか？) と尋ねますよね。

Chicken, Please. (チキンをお願いします。) と答えればチキンをもらうことができます。

それ以外にもレストランなどで

5 people, Please. (5人をお願いします。)

Menu, Please. (メニューをお願いします。)

Water, Please. (水をお願いします。)

Check, Please. (会計をお願いします。)

という形で「please」さえあれば大体通じます。

「please」の面白い使い方では、強調したり、脅したりっていう使い方もあるんです。

強調、脅しに使う場合

Jack, Please! (ジャック、やめて！)

Please stop it! (お願い、それはやめて！)

Please do not make any noise! (どうかうるさい音を出さないで！)

また、お願いの文と組み合わせて「please」を強調して言うことによってちょっと脅して「絶対やってくれよな」というフレーズにすることもできます。

Will you please hurry up? (お願いだから急いでくれないかな？)

また「喜ばせる」という動詞の「please」も知っておくと便利です。

He does everything to please her. (彼は彼女を喜ばせるために何でもします。)

⑩ Thank you (ありがとう)

Thank you for your present. (プレゼントありがとう)

ひとつ前の表現で「please」とお願いして、そのお願いに応えてくれたら「Thank you.」と感謝を伝えたいですね。

Thank you for your time. (時間を取ってくれてありがとう。)

Thank you for your effort. (尽力してくれてありがとう。)

Thank you for your help. (助けてくれてありがとう。)

このように「for」の後に直接「モノ」「や」「コト」を入れて感謝を伝えてもいいですし、何か「動作」をしてもらった場合、この「Thank you for」の後に「～ing」

を付けて動作に対しての感謝を表すことができます。

Thank you for helping me. (私を助けてくれてありがとう。)

Thank you for coming today. (今日は来てくれてありがとう。)

「Thank you」と言えば、目の前の「you」相手に対しての感謝を伝える表現なんですけれども、感謝をする対象が「you」じゃなくて「他の人」でも構わないわけです。

I thank them for coming today. (彼らが今日来てくれて感謝している。)

I thank Jack for inviting me to his party. (パーティーに招待してくれてジャックに感謝している。)

感謝する特定の対象人物がいなくても使うことができます。

Thank God that's over. (神様、終わってくれてありがとう。)

Thank goodness that's over. (終わってよかった。)

Thank heavens that's over. (終わってくれてほっとした。)

何かラッキーなことが起こったりですね、何かトラブルが解決したら、もう天を仰いで「ああ、ありがとうございます。」ってね。特定の神様だったり、もしくは天を仰いで言いますので「Thank God.」とか「Thank goodness」「Thank heavens」なんて面白い表現もあります。

何かをしてもらった後に感謝するんじゃなくて、何かをしてもらう前にですね、あらかじめ感謝を伝える、そんな表現もあります。

Thank you in advance. (よろしく願います。)

「よろしく願います」的な意味合いを含んでいます。

また、ちょっと変わったところでは、皮肉的に使うことができますね。

Thank you for nothing. (この役立たず。)

「もうありがた迷惑だよ」としてくれたことに何にも感謝を言わないよ、ということ
ことで（もう、役に立たないな。）こんな面白い表現も覚えてみてください。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

レストランにおける会話一例

I want to eat spaghetti. I think a new Italian restaurant just opened around the
corner. (スパゲッティが食べたいな。すぐそこに新しいイタリアンレストランが
最近オープンしたと思うよ。)

Let's eat lunch there. (そこで昼食を食べようよ。)

Can you come with me? (一緒に来れる？)

I hope this restaurant serves nice spaghetti.

(このレストランがおいしいスパゲッティを出してくれるといいな。)

I should order this lunch time special!

(このランチスペシャルをオーダーした方がいいな。)

Order, please. (注文をお願いします。)

I will have this lunch time special. (このランチスペシャルをお願いします。)

Wow, I like this meat sauce spaghetti. (このミートスパゲッティ好きだな。)

Thank you for coming with me. (一緒に来てくれてありがとう。)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ビジネスシーンにおける会話一例

Let's start my presentation. (プレゼンを始めましょう。)

I want to show you some slides. (スライドをいくつかお見せしたいと思います。)

Please turn off the lights. (照明を消してください。)

Can you see this chart here? (このチャートが見えますか?)

I think this product is very useful for your company.

(この商品は御社にとってとても有益だと思います。)

I hope you will like this product.

(御社がこの商品を気に入ってくださるといいですが。)

Thank you for listening to my presentation.

(私のプレゼンを聞いてくださりありがとうございます。)

I should have brought a more detailed catalog of this product.

(この商品のもっと詳しいカタログを持ってくるべきでした。)

I will bring it next time. (次回来る時にお持ちします。)